

令和7年度原子力防災要素訓練の実施について

令和8年（2026年）1月
総務部危機対策局原子力安全対策課

1 訓練の目的

原子力災害が発生した状況を想定し、関係機関と連携し、防護措置に係る対応手順などを確認するとともに、関係機関の防災意識の高揚や防災対策に関する理解促進を図る。

2 主 催

北海道

3 実 施 日

令和8年2月6日（金）

4 場 所

札幌コンベンションセンター（札幌市白石区）

5 参 加 機 関

UPZ内13町村、避難先9市町村、北海道運輸局、北海道電力（株）ほか

6 訓 練 想 定

北海道南西沖を震源とする地震が発生。地震後、北海道電力（株）泊発電所3号機において、設備故障により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

7 訓 練 内 容（予定）

- 一時滞在場所開設に向けた通信訓練
- 一時滞在場所の開設・運営
- 要配慮者の相談対応
- 観光客の帰宅支援
- 避難先ホテル等の調整・確保

8 そ の 他

訓練参加者及び関係機関に対する事後調査等により、課題等を把握・整理する。